

健康で元気なまち

1 高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業

聴力機能が低下し、コミュニケーションが取りにくい高齢者のフレイル予防と社会参加を支援するため、補聴器購入費の一部を補助します。

(1) 対象要件（いずれにも該当する方）

- ア 障害者総合支援法に基づく「補装具」としての補聴器の支給対象でないこと
- イ 補聴器に詳しい耳鼻咽喉科医（補聴器相談医など）の診察と聴力検査結果により、補聴器の必要性を確認していること（両耳が40デシベル以上70デシベル未満（中等度難聴）と診断された人）
- ウ 市内に住所を有し、満65歳以上であること
- エ 住民税非課税であること
- オ 補聴器購入前に、市が支給等の審査と支給の意思決定をしていること
- カ 補聴器の使用状況や社会参加の状況、耳鼻咽喉科医や専門店のフォローの状況などに関するアンケート調査への協力

(2) 補助上限額（案） 補聴器本体の購入費用のうち4万円

(3) 予算額（案） 626万1千円

2 健康eスポーツ事業の拡充

高齢者の健康づくりと生きがいづくりのため、福社会館の浴場を改修し、健康eスポーツ事業を含めた多目的スペースを確保するほか、オンラインを活用した地区別対抗戦の実施や、地域での講座・体験会を積極的に実施し、令和10年度「ねんりんピック」の機運醸成を推進します。

(1) 予算額（案） 5,858万8千円

3 在宅療養連携支援センター「にしのわ」の機能拡充

本市では医療と介護の異なる保険制度間でのスムーズな連携を図るため、在宅療養連携支援センター「にしのわ」を設置し、それぞれの職種間の連携を支援しています。相談支援体制を2人から4人に増員することで、在宅の方が24時間医療を安心して受けられる体制を整備するとともに、在宅療養に関する普及啓発や相談対応を推進します。

(1) 予算額（案） 2,564万6千円

【問い合わせ先】1～3 健康福祉部 高齢者支援課（TEL：042-420-2811）

4 窓口に音声字幕表示スクリーンを導入します

市役所での手続き等の際に、職員の声をリアルタイムに字幕表示するスクリーンを導入し、聴覚に障害がある方などの窓口対応をサポートし、より安心して窓口を利用できるよう、円滑な相談・手続き体制を整えます。

(1) 設置場所
田無庁舎障害福祉課窓口

(2) 予算額（案）
95万7千円



【問い合わせ先】健康福祉部 障害福祉課（TEL：042-420-2804）